



ゆくて遥かに

令和元年 12月9日 (月)

第86号

長野県松本深志高等学校長

二学期終業式&三学期始業式 (12月2日)

年曆には「終始業式」という見慣れない言葉が記されています。二学期の終業式と三学期の始業式を同時に行う終始業式、授業日の確保のために考えられた苦肉の策です。また、3年生は受験を控えた大事な時期でもありますので、寒さ対策とインフルエンザ対策も考慮して、式は放送で行いました。講話では、「長野県における二学期最大の出来事は、10月12日の台風19号の襲来。この日は深志21回生の卒業50周年行事が予定されていて、1年生に特別講義をしていただく予定だった。今年卒業50周年を迎えられる深志21回生は、西穂の落雷事故で11名の同級生を亡くされている学年。何とか特別講義だけでもできないものかと検討したが、最終的にJRが計画運休を発表し断念した。21回生の気持ちは、皆さんに伝えておきたい。本校でも、生徒会の呼びかけで義援金の募金活動を行った。自分たちができることは何かを考え行動に移す、ボランティア活動の基本。ボランティアについては、長年、アフガニスタンで医療活動を行ってきた中村哲医師が、著書『アフガニスタンの診療所から』の中で、こんな話を紹介している。『ある時、三人の若者が山の中で吹雪にあい、遭難しそうになった。C君はぐったりして動けなくなった。途方に暮れたA君とB君。するとA君



この話をした2日後の
12月4日に中村哲
医師は銃撃されて



亡くなられ
ました。
ご冥福を
お祈り
いたします

が「このままでは皆が危ない。ぼくは早く行って救援を頼もう」と二人を残して雪の中に消えて行った。あとに残ったのはB君と倒れているC君。しばらく待ったがA君は戻ってこない。そこで、B君はC君を背負い、ゆっくりと雪の中を歩き始めた。かなりの時間を歩いたころ、前方の雪の中に黒いものが見える。近づいてみると、それは凍死していたA君であった。その時、B君は電光のように悟った。それは、「ぼくはC君を助けるつもりで歩いてきた。だが実は背にしたC君の体のぬくもりで温めあい、自分も凍えずに助かったのだ」ということを』助けることは助け

られること、この精神が中村医師のボランティア活動の指針となっている、とその著書の中で述べられている」「全国高校駅伝大会で深志高校が準優勝したことがある。1950年(昭和25年)の第3回大会。この準優勝、出場46チームの中で唯一の定時制のチームということで大変注目を集めた。先々週、この準優勝した時のメンバーだったOBの方のお話を聞く機会があった。学校に行ける喜び、学ぶ楽しさ、そういったものが熱く伝わってきたお話だった。皆さんは様々なことにチャレンジできる環境にある。そのことに感謝して、力の出し惜しみをせず、今という時間を精一杯生きる、そんな意識を持ってほしい」というような話をしました。

第6回鼎談深志 (11月30日)

30日の土曜日の夕方、教育会館において第6回鼎談深志が開催されました。出席者は、地域代表(町会長さん)5名、生徒12名、教職員代表4名、その他4名(私はここ)の25名。この鼎談深志、発足して3年目となります。生徒が、地域との関わりの中で高校が存在していることを自覚し、高校



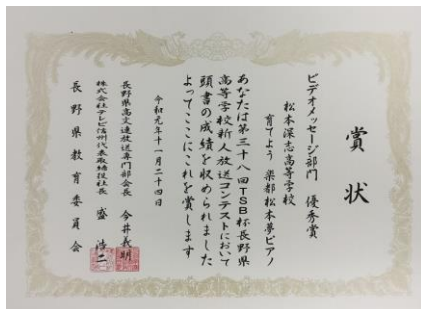
生活の中の身近な課題を解決するために、地域の代表の方々と率直な意見交換をし、お互いの理解を深める中で、具体的に様々な工夫や努力をする、そういった貴重な機会です。今回は、駐停車や音の問題に取り組んだ一年間の活動報告をする中で、様々な意見交換をしました。この会をきっかけに、本校部活動の発表の場も地域で与えていただき、交流の機会も少しずつ増えています。今年、12月22日に蟻ヶ崎東・深志ヶ丘の2町会合同クリスマスコンサートが教育会館で催される予定です。これからの学校では、「地域のために自分ができることは何か」という課題意識と、地域をフィールドとした学びが、これまで以上に重要になっていくのだらうと思います。

北信越大会・全国大会壮行会（12月4日）

4日の昼休み、北信越大会へ出場する棋道部囲碁班と全国大会へ出場する英語研究会の壮行会が行われました。主催は応援団管理委員会、場所は中庭です。自治を叫びて、生徒代表挨拶と続き、朝早くから応援が呼び掛けて集めた応援メッセージを渡し、敵何人ぞ、で締めました。健闘を祈ります。



その他の話題をいくつか



★ ちょっと前の話ですが、11月23日、24日にTSB杯長野県高等学校新人放送コンテストが長野市で行われました。その結果、ビデオメッセージ部門で、本校の作品「育てよう 楽都松本夢ピアノ」が優秀賞に選ばれ、今年の2月に石川県で開催される北信越大会と、来年の8月に高知県で行われる全国高等学校総合文化祭への出場が決まりました。今年一年間、大活躍だった放送委員会制作班です。



安田講堂の時計と同じ高さ

★ 地学会の生徒3名が、岐阜県立恵那高校、諏訪清陵高校の生徒とともに、東京大学で行われた天文学実習に参加しました。国のスーパーサイエンスハイスクールの事業の一環ですが、11月30日から翌12月1日にかけて、宇宙年齢を求める作業に頭をフル稼働させた二日間だったようです。

★ SK松本ジュニア合唱団に所属する二人の生徒が校長室を訪れて、クリスマスコンサートの案内とチラシを持ってきてくれました。校内でも毎年恒例のクリコンが来週から始まります。師走の風物詩をお楽しみに。



今週の予定（A2）

日	曜日	行 事 等	その他(主に校長動向)
9	月	学年会	
10	火	クリコン（アコギ、演劇）	中信地区校長会
11	水	進路検討入試研究会 クリコン（軽音楽）	
12	木	クリコン（ダブルダッチ）	高校教育課用務
13	金	クリコン（ダンス）	校長会用務
14	土	1・2年土曜授業	中信新人バレーボール競技会
15	日		↓
16	月	(A2) 学年会 クリコン（ギター、落研）	校長会講演会